

第4回西北五学童スキー選手権大会  
ジャンプ6年第2位



喜良市小学校 今正幸

第4回西北五学童スキー選手権大会  
リレー女子第1位



川倉小学校チーム

がんばった  
顔

第4回西北五学童スキー選手権大会  
距離女子6年第3位



川倉小学校 泉谷真樹

第4回西北五学童スキー選手権大会  
距離女子6年第2位



川倉小学校 工藤千夏

第4回西北五学童スキー選手権大会  
ジャンプ6年第3位



嘉瀬小学校 泉谷道哉

第4回西北五学童スキー選手権大会  
リレー男子第1位



川倉小学校チーム

第4回西北五学童スキー選手権大会  
リレー女子第2位



嘉瀬小学校チーム

第4回西北五学童スキー選手権大会  
リレー男子第3位



喜良市小学校チーム

第4回西北五学童スキー選手権大会  
リレー男子第2位



嘉瀬小学校チーム

# 嘉瀬小学校校内スキー大会記録

## 二月九日嘉瀬スキー場

### ◆滑降(アルペンスキー)

▼三年男子

第一位 榎方 公一

第二位 津田 正哉

第三位 花田 孝志

第一位 小野 雅也

第二位 松川 明史

▼三年女子

第一位 鳴海 里江

第二位 成田和歌子

第三位 伊藤 愛里

▼四年男子

第一位 今 智寿

第二位 斉藤 健太

第三位 平川 真司

▼四年女子

第一位 山中 由嘉

第二位 山中 由利

第三位 松川 聡佳

▼五年男子

第一位 秋元 仁

第二位 澤田 幸一

第三位 鳴海 友浩

▼五年女子

第一位 澤田 春陽

第二位 鳴海 寿美

第三位 鎌田 樹里

▼六年男子

第一位 原田 靖大

第二位 内海 孝

第三位 泉谷 道哉

▼六年女子

第一位 鎌田 宏美

第二位 木村 文映

第三位 長利 早知

### ◆滑降(リーススキー)

▼一年男子

第一位 山中 悠輝

第二位 伊藤 和公

第三位 工藤 章仁

第三位 黒川 史浩

▼一年女子

第一位 鳴海 歩子

第二位 澤田 陽香

第三位 須崎 綾香

▼二年男子

第一位 伊藤 直也

第二位 鳴海 博一

第三位 原田 朋和

▼二年女子

第一位 木村 陽子

第二位 秋元 香織

第三位 工藤 友歌

▼三年男子

第一位 白川 大貴

第二位 秋元 大志

第三位 今 将仁

第一位 澤田 杏子

第二位 榎方 学美

第三位 山中 美幸

▼四年男子

第一位 斉藤 学

第一位 山中 崇

第二位 内海清太郎

第三位 阿部 崇

▼四年女子

第一位 阿部 光子

第二位 今 泉

第三位 小松 貴子

▼五年男子

第一位 山中 潤哉

第二位 松川 健吾

第三位 其田 港

▼五年女子

第一位 須崎 郁美

第二位 鳴海 友子

第三位 澤田 恵

▼六年男子

第一位 伊藤 和也

第二位 秋元 忍

第三位 秋元 忍

▼六年女子

第一位 鳴海美智子

第一位 澤田 由香

第二位 成田恵美子

第三位 伊藤亜由美

### ◆リース

▼一年男子

第一位 伊藤 和公

第二位 工藤 章仁

第三位 松川 剛大

▼一年女子

第一位 澤田 陽香

第二位 鎌田めぐみ

第三位 鳴海 歩子

▼二年男子

第一位 原田 朋和

第二位 成田 収聰

第三位 鳴海 翔

▼二年女子

第一位 木村 陽子

第二位 澤田 和希

第三位 坂本 麻子

▼三年男子

第一位 原田 晃

第二位 伊藤 敬吾

第三位 白川 大貴

▼三年女子

第一位 榎方 学美

第二位 澤田 杏子

第三位 山中 美幸

▼四年男子

第一位 山中 崇

第二位 斉藤 学

第三位 内海清太郎

▼四年女子

第一位 今 泉

第二位 木村美沙子

第三位 工藤 和美

▼五年男子

第一位 山中 潤哉

第二位 鳴海 和実

第三位 松川 健吾

▼五年女子

第一位 鳴海 友子

第二位 澤田 恵

第三位 須崎 郁美

▼六年男子

第一位 鳴海 英雄

第二位 伊藤 和也

第三位 秋元 忍

▼六年女子

第一位 木村 文映

第二位 澤田 由香

第三位 伊藤亜由美

### ◆回転

▼三年男子

第一位 榎方 公一

第二位 津田 正哉

第三位 松川 慎吾

▼三年女子

第一位 伊藤 愛里

第二位 鳴海 里江

第三位 小松 啓子

▼四年男子

第一位 小松 大也

第二位 斉藤 健太

第三位 鳴海 慎吾

▼四年女子

第一位 山中 由利

第二位 山中 由嘉

第三位 松川 聡佳

▼五年男子

第一位 秋元 仁

第二位 榎方 広樹

第三位 澤田 幸一

▼五年女子

第一位 澤田 春陽

第二位 鎌田 樹里

第三位 鳴海 寿美

▼六年男子

第一位 伊藤 春樹

第二位 泉谷 道哉

第三位 鎌田健太郎

▼六年女子

第一位 斉藤 美香

第二位 鎌田 宏美

第三位 長利 早知

### ◆ジャンプ

▼三年男子

第一位 花田 孝志

第二位 吉村 匡史

▼四年男子

第一位 斉藤 健太

第二位 澤田 匡希

第三位 平川 真司

▼五年男子

第一位 原田 雅仁

第二位 松川 兼吾

第三位 澤田 幸一

▼六年男子

第一位 伊藤 春樹

第二位 原田 靖大

第三位 泉谷 道哉

# 川倉小学校校内スキー大会記録

二月二十六日流山スキー場

◆距離

- ▼一年男子
  - 第一位 其田 享大
  - 第二位 成田 達哉
  - 第三位 泉谷 和亮
- ▼一年女子
  - 第一位 工藤 真紀
  - 第二位 荒井香奈美
  - 第三位 竹内奈津美
- ▼二年男子
  - 第一位 泉谷 周閑
  - 第二位 白川 雅海
  - 第三位 工藤 慎悟
- ▼二年女子
  - 第一位 泉谷 僧
  - 第二位 三濁 幸美
  - 第三位 泉谷 晴美
- ▼三年男子
  - 第一位 其田 知志
  - 第二位 浅利 潤
  - 第三位 其田 直子
- ▼三年女子
  - 第一位 白川麻美子
  - 第二位 白川 明香
  - 第三位 泉谷 直子
- ▼四年男子
  - 第一位 中谷 宗徳
  - 第二位 泉谷 和志
  - 第三位 成田 静哉
- ▼四年女子
  - 第一位 成田 若奈
  - 第二位 其田 仁美
  - 第三位 原田 綾子
- ▼五年男子
  - 第一位 小山内 豪
  - 第二位 白川 敦朗
  - 第三位 泉谷 圭吾
- ▼五年女子
  - 第一位 浅利 恵子
  - 第二位 白川香奈子
  - 第三位 浅利真喜子
- ▼六年男子
  - 第一位 三濁 洋生
  - 第二位 原田 貴仁
  - 第三位 白川 博順
- ▼六年女子
  - 第一位 三濁 樹理
  - 第二位 工藤 千夏
  - 第三位 泉谷 真樹
- ▼旗回り
  - ▼一年男子
    - 第一位 泉谷 和亮
    - 第二位 成田 達哉
    - 第三位 其田 享大
  - ▼一年女子
    - 第一位 工藤 真紀
    - 第二位 浅利 美雪
    - 第三位 白川 元恵
  - ▼二年男子
    - 第一位 中谷 友哉
    - 第二位 泉谷 周閑
    - 第三位 工藤 慎悟
  - ▼二年女子
    - 第一位 泉谷 知志
    - 第二位 浅利 潤
    - 第三位 白川麻美子
  - ▼三年男子
    - 第一位 中谷 純子
    - 第二位 其田 仁美
    - 第三位 成田 若奈
  - ▼三年女子
    - 第一位 小山内 豪
    - 第二位 白川 敦朗
    - 第三位 泉谷 圭省
  - ▼四年男子
    - 第一位 泉谷 和志
    - 第二位 中谷 宗徳
    - 第三位 其田 寿仁
  - ▼四年女子
    - 第一位 中谷 純子
    - 第二位 其田 仁美
    - 第三位 成田 若奈
  - ▼五年男子
    - 第一位 泉谷 和志
    - 第二位 浅利 潤
    - 第三位 白川麻美子
  - ▼五年女子
    - 第一位 浅利真喜子
    - 第二位 坂本 深雪
    - 第三位 浅利 恵子
  - ▼六年男子
    - 第一位 三濁 洋生
    - 第二位 竹内 隆浩
    - 第三位 白川 領世
  - ▼六年女子
    - 第一位 其田 幸花
    - 第二位 三濁 樹理
    - 第三位 泉谷 真樹

▼第三位 白川 博順

▼六年女子

第一位 其田 幸花

第二位 三濁 樹理

第三位 泉谷 真樹

◆回転

▼低学年男子

第一位 浅利 潤

第二位 其田 知志

第三位 中谷 友哉

▼低学年女子

第一位 白川麻美子

第二位 泉谷 侑

第三位 白川 明香

▼高学年男子

第一位 三濁 洋生

第二位 白川 博順

第三位 泉谷 圭省

▼高学年女子

第一位 白川 領世

第二位 三濁 樹理

第三位 其田 幸花

◆ジャンプ

▼高学年男子

第一位 白川 博順

第二位 三濁 洋生

第三位 竹内 隆浩

▼高学年女子

第一位 浅利 恵子

第二位 三濁 樹理

第三位 白川 領世

## 第43回婦人週間

### 青森県婦人会議御案内

とき 三年四月十八日 著書『午後の思い』他

十二時四十五分～

ところ 青森市文化会館大会議室

内容 「性にとられず  
いきいきと暮らせる  
時代を築こう」

記念講演 「しなやかな個性  
のびやかな女と男」

参加者 どなたでも  
男女年齢を問わず

毎日新聞 論説委員 入場料 無料

増田れい子氏 問い合わせ先 青森県婦人少年室

「女の新聞」編集長 Tel青森三五―一〇三三

## 中高年齢労働者受講奨励金制度

四十五歳以上の雇用保険  
被保険者で、労働大臣指定  
の教育訓練を受講し、修了  
した方に対し、受講に要し  
た入学金、受講料の一部を  
奨励金として助成する制度  
です。

労働大臣の指定する教育  
訓練の講座は、中小企業診  
断士、税理士、宅地建物取  
引主任者、技術士等通信制  
通学制(夜間)合わせて約  
七〇〇のコースがあります。  
ただし青森県の場合は通信  
制のみです。

助成する額は 五〇歳未満の方  
四五歳以上 入学科料+受講料

×1/4 \*五万円を限度

×1/2 >五〇歳以上の方  
(入学科料+受講料)

×1/2 \*一〇万円を限度

なお、この制度について  
の詳しいことは雇用促進事  
業団青森雇用促進センター  
電話〇一七七一七七一―二  
三四へご照会ください。

# 喜良市小学校校内スキー大会記録

## 三月六日双葉町スキー場

### ◆レース

#### ▼一年男子

- 第一位 鳴海 大助
- 第二位 松橋 幸利
- 第三位 今 宣孝

#### ▼一年女子

- 第一位 齋藤 増重
- 第二位 葛西 綾子
- 第三位 桜庭 梨菜

#### ▼二年男子

- 第一位 今 貴洋
- 第二位 岡田 諭知
- 第三位 工藤 智弘

#### ▼二年女子

- 第一位 三上 里奈
- 第二位 高橋 千紘
- 第三位 桑田 昌代

#### ▼三年男子

- 第一位 西村 祐樹
- 第二位 泉谷 大介
- 第三位 泉谷 智

#### ▼三年女子

- 第一位 今 佳子
- 第二位 今 昇子
- 第三位 棟方 希

#### ▼四年男子

- 第一位 鳴海 健一
- 第二位 岡田 賢弥
- 第三位 今 正秀

#### ▼四年女子

- 第一位 今 千幸
- 第二位 太田 佳子
- 第三位 柏谷清成子

#### ▼五年男子

- 第一位 大橋架早男
- 第二位 宮崎 浩司
- 第三位 桑田 貴幸

#### ▼五年女子

- 第一位 大橋ひかる
- 第二位 宮崎 愛
- 第三位 藤元 葵

#### ▼六年男子

- 第一位 芦田 嗣大
- 第二位 齋藤 太一
- 第三位 伊丸岡孝介

#### ▼六年女子

- 第一位 福士 陽子
- 第二位 加藤 馨子
- 第三位 吉村 裕子

#### ◆回転

#### ▼一年男子

- 第一位 大橋 正弥
- 第二位 伊丸岡大樹

#### ▼一年女子

- 第一位 葛西 伸映
- 第二位 齋藤 増重
- 第一位 今 清貴

#### ▼二年男子

- 第一位 今 貴洋
- 第三位 伊丸岡優希

#### ▼二年女子

- 第一位 三上 里奈
- 第二位 桑田 昌代
- 第三位 高橋 千紘

#### ▼三年男子

- 第一位 泉谷 大介
- 第二位 米谷 敏昭
- 第三位 白川 隆也

#### ▼三年女子

- 第一位 今 詩子
- 第二位 棟方加奈子
- 第三位 今 昇子

#### ▼四年男子

- 第一位 古川 卓寛
- 第二位 鳴海 健一
- 第三位 葛西 伸哉

#### ▼四年女子

- 第一位 今 千幸
- 第二位 大橋寿美子
- 第三位 柏谷清成子

#### ▼五年男子

- 第一位 宮崎 浩司
- 第一位 宮崎 愛

#### ▼五年女子

- 第一位 宮崎 愛
- 第二位 山口恵利花
- 第三位 桑田 歩

#### ▼六年男子

- 第一位 今 貴洋
- 第二位 伊丸岡優希
- 第三位 鳴海 千秋

#### ▼六年女子

- 第一位 今 貴洋
- 第二位 伊丸岡優希
- 第三位 鳴海 千秋

#### ▼初級

- 第一位 奈良 岳薫
- 第二位 鈴木 章博
- 第三位 奈良 弘志

#### ◆ジャンプ

- 第一位 伊丸岡優希
- 第二位 今 貴洋
- 第三位 今 清貴

#### ▼中級

- 第一位 岡田 賢弥
- 第二位 葛西 伸哉
- 第三位 宮崎 秀人

#### ▼上級

- 第一位 今 正幸
- 第二位 奈良 岳薫
- 第三位 今 正秀



# 塵芥収集車が一台新車に

## 「厚生年金・国民年金積立金」

### 還元融資

これまでも塵芥収集車は年金国民年金積立金から三台(燃えるゴミ収集車二台、燃えないゴミ収集車一台)あったが、家庭から出る燃えるゴミを収集する一(この新しい塵芥収集車を台が古くなり業務に支障が、ゴミの分別にご協力お願い出てきたため、全額「厚生

年金国民年金積立金」から融資を受け買い換えたもので総額七、三〇七、四一〇円

大切に使うためにも、家庭



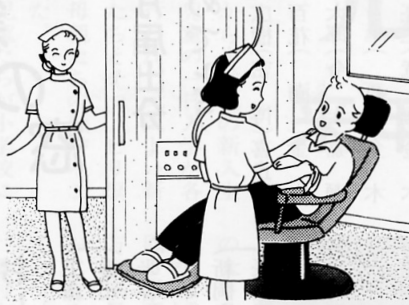
●採血基準の改正

# 血液の比重と血圧の基準を見直し 体重別の血漿採血基準を導入

諸外国と比べて、日本の献血率は高いのが実情です。平成元年は、延べ約八百七十万人の方が献血をされました。しかし、その一割に当たる約八十二万人の方が、血圧が低い、血液の比重が不足しているなどの理由で献血に不適合とされ、その善意を生かすことができませんでした。

そこで、採血基準を四月一日から改正し、いままでも不適合とされ採血できなかった人たちにも、献血に参加できる道が開かれることになりました。

現在、国内で行われている献血方法は、大きく分けて二通りあります。一つは、血液をそのまま献血していただく「全血献血」、



▼採血基準の改正

もう一つは、血液の構成成分である血小板や血漿だけをいただき、残りを体内へ返す「成分献血」です。全血献血には、二百mlと四百mlの二種類があるため成分献血と合わせると全部で三種類——このなかからいづれかの方法を自由に選んで、献血できるようになっています。

しかし、現在の採血基準は昭和六十一年四月から実施されたもので、すでに五年が経過しています。この間に、蓄積された医学的安全性や諸外国の例が検討され、採血基準を改正し、平成三年四月一日から実施することになりました。

## 血液比重とは

同じ体積の水の重さを、1とした場合の血液の重さの比をいいます。日本人の正常範囲は、男性、一、〇五二〜一、〇六〇、女性は一、〇四九〜一、〇五六といわれています。女性はもとも男性より赤血球が少ないため比重が低いのが普通です。

## 改正された 四つのポイント

それでは、従来の採血基準とどのような点が違うのでしょうか。大きく改正された四つのポイントをみてみましょう。

①血液の比重が採血基準に達しない女性の方も、献血できるようになりました

女性の低比重は、必ずしも女性の不健康を示すものではありません。これは、血液中の赤血球の数の違い（女性は男性に比べて、約一割少ない）による、

生理的なものが多いといわれているからです。こうした方は、これまで献血できませんでした。今回の改正で献血方法によっては、善意が生かされるようになりました。この献血の方法は血漿成分献血といわれるもので、血液中の血漿だけを採血し、回復が遅く、女性には男性より少ない赤血球などの成分を体内に返すものです。事前に赤血球指数の検査を行い、標準域であれば血漿成分献血ができるようになります。

従来の採血基準では、体重五十kg未満の人は、二百ml献血しかできませんでした。しかし今回の改正で、男性四十五kg以上、女性四十kg以上の方も、成分献血ができるようになりました。

④血漿成分採血は、体重を目安に採血量を選択できることになりました

血漿成分献血は、献血する人の体重を目安に、本人の希望により三百〜六百mlまで献血できます。

どんなに時代が進んでも、献血は人間にしかできない最も尊い行為です。安全で安心な輸血をするために、皆様のご協力をお願いします。

## 成分献血とは

血液中の特定成分（血漿や血小板など）だけをとり出すもので、ほかの成分（赤血球など）はそのまま献血される方に返す方法です。最新の医療技術が可能にした、効果的でムダのない献血で、いま世界各国で、安全でしかも確かな方法として、広く支持されています。



# 戸籍の窓

## 二月届出分 おめでとぅ

伊丸岡広樹(密博)喜良市  
高松 百花(満)金木  
秋元 大郎(令士)嘉瀬  
白川 隼(巨)金木  
石戸谷亮仁(竜海)金木

秋元 洗洋(弘)川倉  
白川 雄太(登喜雄) "  
野村すみれ(卓司)金木

(工藤一仁(春作)車力村  
黒滝美紀子(清三)金木

## おしあわせに

(工藤 春光(晴教)車力村  
藤元小百合(文雄)喜良市  
米谷 貴雄(義弘)喜良市  
マルティニス(アルビノ)フィリピン  
(レンバダシ)マルティニス)

(新岡 幸仁(幸之進)中里町  
長内陽子(政榮)喜良市  
葛西千代行(千代美)木造町  
出町富士美(繁富)嘉瀬  
一戸浩道(金四郎)喜良市  
佐藤郁代(正城)岩木町

荒閑 照春(66) "  
新岡 慶一(73) "  
葛西 つえ(75) "  
對馬 いそ(92) "  
三上秀太郎(79) 川倉

## おくやみ

松川 忠勝(74) 嘉瀬  
鎌田 俊二(32) "  
白川 竹治(66) 金木  
外崎 新也(30) "  
山中 イヨ(90) 嘉瀬  
白川嘉四太郎(74) 金木

病院長が落成し、百五十床で  
診療が開始されました。正  
面を入り左側に進むと左側  
に事務室、右側に薬局があ  
り、その先に各科外来があ  
り、検査室・看護婦詰所が  
続いていました。その頃の  
看護婦は助手も含め二十二  
名で当直制でした。その後  
手術室・レントゲン室・厨  
房などが出来、詰所も移さ  
れ、患者数も増えてしまし  
た。昭和四十三年の十勝沖  
地震のときに胆嚢を摘出さ  
れて四日目の患者が点滴を  
一人ではずして逃げたのも  
思い出されます。また詰所

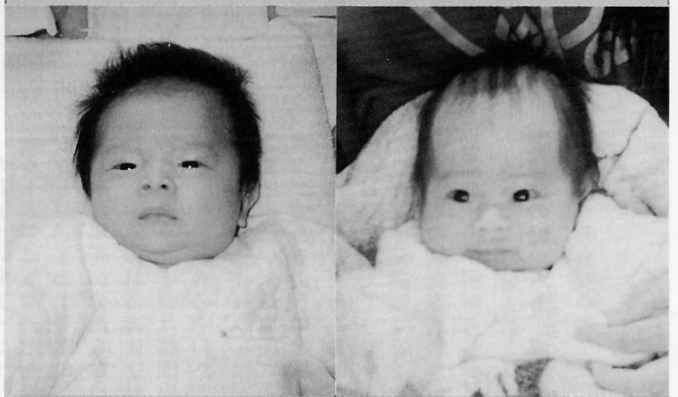
## 金木病院カルテ⑥② 「金木病院の思い出」 公立金木病院総婦長 加賀谷睦子

私が初めて金木に来たのは昭和二十九年三月のことです、当時の金木病院は郷土の作家太宰治も通ったという金木尋常小学校を一部改築したもので、教室がそのまま外来や入院室になって

おりました。その頃は冬の寒さも厳しく雪も多く、吹雪の日などは病室の廊下の一面真っ白に雪が吹き込む状態で、そのためその雪をかき出したりはくれた戸や窓を打ち付けたりしたこともありました。一冬に何度か津軽鉄道もストップし、身内が訪ねてきても三日も四日も帰れないこともありました。

昭和三十三年十月にそれまでの厚生連金木病院から金木と中里両町で運営される公立金木病院となり、昭和三十五年八月には新しい

## はじめまして



ひろお  
**大郎**ちゃん  
2月4日生まれ  
体重 2,900g  
嘉瀬 東町  
秋元令士さんの長男

ももか  
**百花**ちゃん  
1月29日生まれ  
体重 3,240g  
金木 沢部  
高松 満さんの長女

の壁に大きな亀裂も出来ました。昭和四十年代後半には交通事故が多発し、特に砂利道でのバイクの転倒事故が多く、傷口にくい込んだ小石を取り出すのに時間がかかったものでした。

昭和五十二年十月には創立二十周年記念行事が盛大に挙行され、その頃より地域医療の発展・充実のため病院の新築が大きな課題となりました。その両町民の要望は遂に実現され、昭和五十八年八月に新病院が落

成しました。看護婦も増員され三交替制(日勤・準夜・深夜)が実施されるようになりました。現在看護婦は七十六名となり、より充実した看護ができるようになりました。

## 叙 勲

▽勲六等瑞宝章  
藤元唯広  
元金木町議  
喜良市市一月十一日死去  
▽勲五等瑞宝章  
白川竹治  
元金木町議・前町収入役  
金木沢部二月七日死去

新学期……友達を考える (平成二年版青少年白書)

# 遊べない環境が希薄な友人関係を生む

豊かな人間性や社会性をはぐくむうえで、友達とのコミュニケーションは、子供にとつて欠かせないものです。にもかかわらず、近ごろの子供たちは、友達との付き合い方が表面的なものになってきているといわれています。

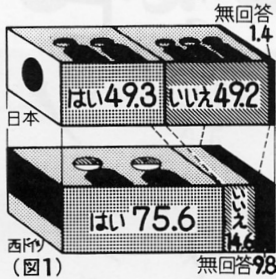
そこで今回は、「本当に子供たちの友人関係は希薄なものになっているのか」、また、「何が原因でそうなったのか」などを、平成二年版の青少年白書をもとに、子供たちの友人関係の現状と、その背景をみてみましょう。

友人関係の現状からみてみましょう。

「仲のよい友達は何人いるか」との問いに、意外にも「二十人以上」という回答がもつとも多く、世間でいうほど子供たちの友達の数はいくつありません。ところが、友達との付き合い方に問題があるようです。九割近くの子供が、友達に対して心の深いところを出さずに、ごく表面的な付き合い方をしています。「親友」と呼んでいる友達に対してでも、このような付き合い方をする子供が、約半数も

いるのです。「友人関係が希薄になっている」といわれているのも、あなたがち大げさな表現ではないといえるでしょう。

一人の友達との深い付き合いを大切に



友達との付き合い方を、他の

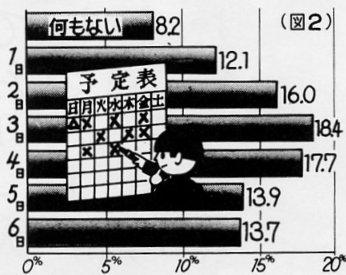
国と比較してみましょう(図一参照)。「浅く広く付き合い合うより、一人の友達との深い付き合いを大切に」日本の子供が、西ドイツの子供と比べて少ないが目につきます。表面的な付き合い方しかしていない子供が、多いのほかに多いには驚かされ

## 友達と遊びたくても遊べない子供たち

友人の数は多いが、その付き合い方が表面的なものとなつていく子供たち。この背景には、一体何があるのでしょうか。これには子供たちを取り巻く生活環境の変化、特に、子供たちのコミュニケーションの場である「遊び」の時間が少なくなつてきたことにあるといわれています。

一昔前なら、学校から帰るとすぐに遊びに行く子供たちの姿が、どこの家庭でもみられたものでしたが、今日ではどうでしょう。放課後の過ごし方につい

予定のある日(月曜日～土曜日)



テレビや漫画、テレビゲームを相手に、一人で遊ばざるを得ないのです。友達と遊びたくても遊べない——それが現代の子供たちなのです。

## 友人関係を深めるための環境づくりが大切

子供が友達と遊ぶことは、大人が考える以上に重要です。遊びを通して、人との接し方を学び、他人に対する思いやりや共感の心が育っていくことで、友人関係は深まっていきます。この貴重な友達とのコミュニケーションの時間が、塾や習い事などの時間に費やされているので

確かに、受験競争の時代を生きた現代の子供たちにとって、塾や習い事は必要かもしれせん。が、一方、友人関係も、子供の人間形成において必要なことです。子供の発達段階や個性などに応じて、学ぶこととのバランスを見つめ直し、友達とコミュニケーションできる環境をつくっていくことを、改めて考えていきたいものです。

友達との、深い付き合いを通してこそ、子供は豊かな人間性や社会性を身に付けていくのですから……。

## ▼新学期……友達を考える

※調査当時、ドイツは東・西に分かれていましたが、現在では統一されています。

# 伊藤忠吉さん（東京都）

## 町にビッグな寄付『一千万円』

東京都八王子市に住む伊藤忠吉さん（七十九歳）が、町に一千万円を寄付して下さいました。

伊藤さんは、公認会計士として会計事務所を開設しているが「いつも健康で仕事をしているのも社会の皆様のおかげ」と感謝、いずれ相応分を社会に還元しようと考えられていたもので、今回も故郷である金木町に昭和六十一年九月に引き続き一千万円（合計二千万円）を寄付されたものです。

町でも田中町長を始めとして、この申し出に大変感謝しており「大切につかわせていただく」と話しています。

伊藤さんは、金木三軒町の出身で、現在金木小川町に住む伊藤サキさんのお兄さんにあたります。

